

令和元年度 9月

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表

児童発達支援事業所たけのこ鳴門

回収率 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未記入	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	60%	35%	0%	5%		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	70%	20%	5%	5%		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	45%	40%	10%	5%		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	90%	5%	0%	5%		
	5	活動プログラムが固定しないよう工夫されているか	90%	5%	0%	5%		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	25%	35%	35%	5%	・花雲さんとの交流は貴重な機会 で、楽しんで行っている。 ・他と交流することは望んでいない。	他施設との交流については、機会を見て 継続して行っていければと思っています。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	90%	5%	0%	5%		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	80%	10%	5%	5%		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	75%	20%	0%	5%	・助言はあまりない。	ご要望などについては個別に対応させていただきます。

保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20%	40%	35%	5%		保護者向けの研修会も行っております。ぜひご参加ください。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	70%	20%	0%	10%		ご要望やご指摘に対しては個別に回答させていただきます。
	12	子どもや保護者との意見の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	80%	15%	0%	5%		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	35%	40%	20%	5%		ホームページ上に活動概要などの掲載はしていませんが、事業所評価の結果は今後掲載予定です。
	14	個人情報に十分注意しているか	80%	15%	0%	5%		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	60%	25%	10%	5%		防災マニュアルと防犯マニュアルは玄関の掲示板横にファイルを置いてあります。ご自由にご覧ください。感染症については掲示用のものを作成する予定です。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	85%	5%	5%	5%	・災害時の避難場所などを再度確認させてほしい。	後日、家庭用に配布させていただきます。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	75%	15%	5%	5%	・通所するのを楽しみにしている。	安心して利用していただけるよう努力してまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	75%	20%	0%	5%		

令和元年度 9月

保護者等向け

児童発達支援評価表

児童発達支援事業所たけのこ鳴門

回収率 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	分からない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	60%	20%	0%	20%	・こじんまりした感じが我が子に合ってる。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	40%	40%	0%	20%	・STやOTなど、専門職の配置を希望。 ・職員が丁寧。	リハビリ専門職員は配置しておりませんが、ご意見ありがとうございます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	40%	40%	0%	20%	・致し方ないが、段差があってバリアフリーではない。 ・手すりがあり、畳の部屋なのでよい。	必要に応じてバリアフリーも検討してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	80%	0%	0%	20%		
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	80%	0%	0%	20%		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	80%	0%	0%	20%		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	80%	0%	0%	20%		

	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	80%	0%	0%	20%		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	0%	60%	40%	・幼稚園や事業所同士の情報交換がない。	現在、近隣の幼稚園などとの交流は行っておりません。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	80%	0%	0%	20%		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	20%	0%	20%	60%	・わからない。 ・『褒めて伸ばす』をもっと教えてほしい。	家族支援については個別に対応させていただきますので、声をおかけください。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	80%	20%	0%	0%	・幼稚園での様子を把握して課題にしてほしい。	今後、必要に応じて連携を図ってまいります。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	60%	0%	0%	40%		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20%	0%	20%	60%		今後ご希望があれば検討します。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応しているか	80%	0%	0%	20%		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%	0%	0%	0%		

	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	0%	20%	20%	60%		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	80%	20%	0%	0%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	20%	20%	0%	60%		玄関の掲示板横に防犯マニュアルと防災マニュアルを置いてあります。ご自由にご覧ください。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	40%	0%	0%	60%		玄関の掲示板に実施日と訓練の種類を貼り出しています。ご確認ください。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	60%	0%	20%	20%		
	23	事業所の支援に満足しているか	60%	0%	0%	40%		

令和元年度 9月

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

児童発達支援事業所たけのこ鳴門

回収率 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	20%	80%	0%	・仕切りを用意するとよいと思う。 ・個別や小集団に分かれて行っている。 ・同室2名以上になった場合、背中合わせにしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	0%	80%	20%	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0%	0%	100%	・車いすには対応できていない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	80%	20%	0%	・職員会議や朝礼で定期的に行っている。 ・職員一人ひとりがもっと意識すべき。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	60%	40%	0%	・業務改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	20%	40%	40%	・今後公表予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	60%	40%	・第三者による外部評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	・定期的に研修を行っている。 ・社内、社外の研修に参加している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	・定期的にモニタリングを行い、計画書を作成している。

適切な支援の提供

10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	60%	40%	0%	
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	60%	40%	0%	・話し合う機会を朝礼などで設けている。
12	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	60%	40%	0%	・固定化しないよう工夫している。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	80%	20%	0%	・細かく課題設定を行っている。 ・メンバーや内容について他の職員と確認しながら行っている。 ・長期休暇前には職員間で案を出し合っている。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	80%	20%	0%	・個別訓練と集団訓練を組み合わせ訓練指導計画案を作成している。
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	・朝礼で話し合っている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	0%	60%	40%	・必要に応じてその日のうちに行っている。
17	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	・記録を適切に取り、次回の支援につなげている。 ・翌日になることもあるが、必ず行っている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	・定期的に実施している。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	60%	40%	0%	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80%	20%	0%	・担当者が参加している。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	80%	20%	0%	・そのつど情報共有と連絡調整を行っている。 ・学校と直接行うより、保護者とのやりとりが主である。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	40%	40%	20%	・該当児なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	80%	20%	0%	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0%	100%	0%	・該当児なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	20%	60%	20%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	20%	80%	・現在、交流はない。 ・今後検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	60%	20%	20%	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	60%	40%	0%	・モニタリングや送迎時に伝え合っている。
	29	保護者の適応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0%	60%	40%	
保護者への説	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	60%	40%	0%	・契約時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80%	20%	0%	
	32	父母の会の活動を支援したり保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	20%	80%	・今後検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	60%	40%	0%	・苦情があった際には迅速かつ適切に対応している。

明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	20%	0%	80%	
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	・注意している。 ・保管不要な書類等は使用后シュレッダーで廃棄している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	・サインや筆談などを使っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	20%	80%	・地域の方を招待することはしていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	80%	20%	0%	・発生時対応フローチャートを活用し、共通理解に努めている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	・月に一度訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	80%	20%	0%	・研修機会を設け、虐待防止に努めている。 ・社内、社外の研修に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	80%	20%	0%	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	60%	40%	0%	・食物アレルギーのある利用児については、おやつを準備するときなどに職員間でチェックを行っている。 ・保護者に確認してもらいながら対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80%	20%	0%	・事故が起きないよう情報を共有している。 ・そのつど周知して原因を分析し、対策を講じている。

令和元年度 9月

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

児童発達支援事業所たけのこ鳴門

回収率 100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	60%	40%	<ul style="list-style-type: none"> 一つの部屋に二人の児が課題を行う際には仕切りがあるとよいと思う。 一室に二人の児がいる時には背中合わせになるようしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	20%	80%	
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	20%	80%	<ul style="list-style-type: none"> 車いすには対応していない。 玄関に段差がある。 絵カードなどを利用して情報伝達の配慮をしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	40%	60%	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備を行い、清潔になるよう心掛けている。 エアコンなど、定期的に清掃している。庭も業者をお願いして整備してもらっている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で振り返りを行っている。 もっと職員一人一人が意識すべき。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の意見を聴き、改善に努めている。 改善できるものであれば実施していく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> 会報はない。 HPで公表予定。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	40%	60%	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に研修を設けている。 社内外の研修に参加している。

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	80%	20%	・定期的にモニタリングを行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80%	20%	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	・支援計画に沿って支援している。 ・日々の指導計画案に盛り込まれている。 ・支援に入る前に目標を確認している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	80%	20%	・職員会議や朝礼で話し合っている。 ・職員の得手不得手も考慮し、計画案を作成している。
	15	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	100%	0%	・固定化しないよう日々工夫している。 ・職員会議や朝礼で話し合っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	80%	20%	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	・朝礼で打ち合わせをしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	40%	60%	・次回利用日の朝礼で打ち合わせをしている。 ・そのつど必要に応じて行っている。 ・振り返りが当日できない場合、翌日に必ず行う。
	19	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	・記録を取り、職員間で話し合っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	80%	20%	・定期的実施している。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80%	20%	・児発管が参加している。

関係機関や保護者との連携

22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	0%	20%	・必要に応じて実施している。
23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	20%	80%	・該当児なし。
24	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	20%	80%	該当児なし。
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	40%	60%	
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	80%	20%	・学校の先生が見学しに来てくれたときがあり、有意義であった。このような機会が増えるといい。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	40%	60%	・定期的に研修に参加している。 ・研修があれば参加したい。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	100%	・交流なし。 ・今後検討していく。
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	40%	60%	・積極的に参加している。 ・あることを知らない。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	80%	20%	・モニタリングや送迎時に伝え合っている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	0%	100%	・ペアトレをできる職員が少ない。
32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	80%	20%	・契約時に行っている。 ・相談されたことは職員間で話し合ってから応じている。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	80%	20%	・モニタリング時に支援内容について話し合い、提供すべき支援に基づき計画を立てている。

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	60%	40%	・相談されたことは職員間で話し合ってから応じている。 ・モニタリングの時などに話を聞いている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	100%	・今後検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	20%	・そのつど適切に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	20%	80%	・今後検討していく。 ・行事予定は早めに伝えるよう努めている。
	38	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	・使用済みの個人情報はすぐに廃棄している。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80%	20%	・サインなど視覚的に行っている。 ・サインを使う場合、職員間で異なるよう話し合っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	20%	80%	・できていない。 ・今後検討していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%	・月に一度訓練を行っている。 ・発生時対応フローチャートを活用し共通理解に努めている。 ・保護者に知らせているのかは不明。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	・月に一度訓練を行っている。
	43	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100%	0%	・情報収集をし、理解に努めている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	80%	20%	・アレルギーのある児がいる日は、他の職員ともチェックをし合う。 ・家族から医師に確認してもらい、対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	・必ず全員が目を通すようにしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	・虐待防止の研修をしている。 ・定期的実施している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%	0%	・研修に行った職員から内容を学んでいる。 ・定期的に社内外の研修に参加している。